問5　講座/学科目制を採用してきた大学として、そうした講座/学科目制にはいかなる利点があったとお考えですか。あてはまるものをすべてお選びください。

（複数回答可）

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	133	62	26	35	10
1. 専攻分野・領域間の重複や分野の欠落を避けることが出来る	52.6	51.6	61.5	45.7	60.0
2. 基礎、応用の両分野を通じ、後継者育成を十全ならしめ、「学統」を継承させることが出来る	45.1	46.8	42.3	48.6	30.0
3. 講座等を統括する教授の指揮・指導の下に、日常の教育活動を円滑かつ系統的に遂行していくことが出来る	50.4	46.8	38.5	71.4	30.0
4. 外部資金を獲得し、研究成果を継続的に産出していく上で、教授を軸に系統的かつ継続的に研究活動が出来る	39.1	33.9	26.9	65.7	10.0
5. 「学」の継承に十分に配慮しつつ、人事手続を円滑に進める上でこの制度が有効である	30.8	29.0	34.6	28.6	40.0
6. 講座/学科目制を一度に廃止することに伴う、学内的な混乱や教育研究上の停滞を回避することが出来る	17.3	19.4	7.7	20.0	20.0
7. 学内資金の配分の基礎単位として活用できる	34.6	33.9	30.8	40.0	30.0
8. その他	7.5	8.1	7.7	5.7	10.0

問6　【問3で、1と回答された大学にお尋ねします】講座/学科目制の廃止に向け、当面どのような措置を講ずることを計画されていますか。

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	6	3	3	―	―
1. 可及的速やかに、講座/学科目制を廃止し、新たな制度を始動させる	33.3	33.3	33.3	―	―
2. 講座/学科目制に代わる措置を計画しており、既に実施準備段階に入っている	66.7	66.7	66.7	―	―
3. そうした法改正を視野に入れ、代替措置の検討に着手することとしている	0.0	0.0	0.0	―	―
4. 当面、講座/学科目制を存続させる一方で、代替措置の検討の機会もうかがいたい	0.0	0.0	0.0	―	―
5. その他	0.0	0.0	0.0	―	―

問7　【問6で、1～3.と回答された大学にお尋ねします】それでは、どのような代替措置を計画されていますか。ご自由にご記述下さい。

自由記述のため、今回は省略

問8　【問6で、1～3.と回答された大学にお尋ねします】そのような改革に基づく新たな制度を、いつ頃施行されるご予定ですか。

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	6	3	3	―	―
1. 平成18年度中	33.3	33.3	33.3	―	―
2. 平成19年度中	33.3	33.3	33.3	―	―
3. 平成20年度中	33.3	33.3	33.3	―	―
4. 平成21年度中	0.0	0.0	0.0	―	―
5. 平成22年度中	0.0	0.0	0.0	―	―
6. 平成23年度中	0.0	0.0	0.0	―	―

【以下の問9～問10は、問2で2.と回答された大学にお尋ねします。それ以外の大学は、問11にお進みください】

問9　貴大学では、教員の所属組織に関し、どのような形態をとられていますか。

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	86	6	18	7	55
1. 教員は、学部・学科に所属している	82.6	16.7	83.3	71.4	90.9
2. 教員は、大学院研究科に所属している	1.2	0.0	5.6	0.0	0.0
3. 教育研究組織を「学生（の所属する）組織」と「教員（の所属する）組織」に分離させている	3.5	33.3	0.0	0.0	1.8
4. その他	12.8	50.0	11.1	28.6	7.3

問10(1)　講座/学科目制に関する規定が大学設置基準から削除される方向で検討が進められていることと直接かかわりなく、すでに何らかの形での教員組織の改革を計画され、若しくは、当面の措置としてそうした予定を立てておられますか。

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	85	5	18	7	55
1. 新たな教員組織の構築に向けた計画の実行段階にある	2.4	0.0	5.6	14.3	0.0
2. かねてより、教員組織の改革を計画中である	3.5	20.0	5.6	0.0	1.8
3. 今後、教員組織改革の計画に着手することを予定している	16.5	0.0	11.1	28.6	18.2
4. 当面、そうしたことは、予定していない	70.6	40.0	61.1	42.9	80.0
5. その他	7.1	40.0	16.7	14.3	0.0

問10(2)【問10（1）で、1～3.と回答された大学にお尋ねします】 どのような教員組織改革を計画されていますか。ご自由にご記述下さい。

自由記述のため、今回は省略

問10(3)【問10（1）で、1～3.と回答された大学にお尋ねします】 そのような教員組織の改革を計画するに至った動機・理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。　（複数回答可）

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	19	1	4	3	11
1. 教員の担当授業科目に偏りがみられ、必要な授業科目が提供しにくくなるとともに、体系的で一貫したカリキュラムが編成しづらくなってきたから	36.8	0.0	50.0	66.7	27.3
2. 社会の要請する人材需要に対応したカリキュラムが編成しづらくなってきたから	47.4	0.0	75.0	66.7	36.4
3. 教育、研究の両面において、学際領域、学融合領域への柔軟な対応が難しくなってきているから	73.7	100.0	75.0	100.0	63.6
4. 「教授・准教授・助教・助手」 へと教員の職にかかる制度変更がなされることに対応させるため	36.8	0.0	25.0	33.3	45.5
5. 財政運営上、現行の教員組織を維持していくのが困難との見通しを立てたから	15.8	0.0	25.0	33.3	9.1
6. その他（あてはまらない）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問10(4)　【問10（1）で、1～3.と回答された大学にお尋ねします】 そのような改革に基づく新たな制度を、いつ頃施行されるご予定ですか。

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	16	1	4	3	8
1．平成18年度中	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5
2．平成19年度中	43.8	0.0	25.0	66.7	50.0
3．平成20年度中	18.8	0.0	25.0	33.3	12.5
4．平成21年度中	12.5	100.0	25.0	0.0	0.0
5．平成22年度中	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5
6．平成23年度以降	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5

問11(1)【全員がお答え下さい】これまでの教員組織を見直して、「教育組織」と「研究組織」にすでに分離し、若しくはそのような分離を行うことを予定していますか。

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	220	68	43	42	67
1．既に、両者を分離している	10.5	25.0	4.7	7.1	1.5
2．両者を分離する方向で、計画を策定中である	7.3	17.6	2.3	7.1	0.0
3．将来的に、両者を分離する方向でを検討を行っている	3.6	4.4	4.7	0.0	4.5
4．将来的に、両者を分離するか否かについて検討を行っている	15.9	25.0	9.3	16.7	10.4
5．そうした検討は行っていない	62.7	27.9	79.1	69.0	83.6

問11(2)　【問11（1）で、1～3.と回答された大学にお尋ねします】どういう理由から、「教育組織」と「研究組織」の分離を検討され、若しくはそうした計画を策定されたのでしょうか。a～hのそれぞれにお答えください。

a. 教員を研究組織から教育組織に出向させ教育活動を展開させることにより、各教員の専攻する教育研究上の知見を、学部・学科の壁を越えたより広範なスケールで学生に提供していくことが可能となる。

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	46	31	5	6	4
1．あてはまる	69.6	80.6	60.0	33.3	50.0
2 .どちらかといえば、あてはまる	13.0	9.7	20.0	33.3	0.0
3．どちらかといえば、あてはまらない	6.5	6.5	0.0	0.0	25.0
4．あてはまらない	10.9	3.2	20.0	33.3	25.0

b. 学生の将来選択に柔軟に対応できるよう、「複数専攻制」の導入、学生の進路変更希望に応じた教育ユニット間の転籍、などが容易に行えるような制度設計が可能となる

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	46	31	5	6	4
1．あてはまる	19.6	25.8	20.0	0.0	0.0
2 .どちらかといえば、あてはまる	39.1	38.7	40.0	33.3	50.0
3．どちらかといえば、あてはまらない	21.7	22.6	0.0	16.7	50.0
4．あてはまらない	19.6	12.9	40.0	50.0	0.0

c. 社会の要請する人材需要に対応したカリキュラムが編成し易くなる

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	46	31	5	6	4
1. あてはまる	56.5	61.3	20.0	66.7	50.0
2 .どちらかといえば、あてはまる	37.0	35.5	60.0	33.3	25.0
3. どちらかといえば、あてはまらない	6.5	3.2	20.0	0.0	25.0
4. あてはまらない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

d. 教育、研究の両面において、学際領域、学融合領域への柔軟な対応が可能となる

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	46	31	5	6	4
1. あてはまる	63.0	67.7	40.0	66.7	50.0
2 .どちらかといえば、あてはまる	30.4	29.0	60.0	33.3	0.0
3. どちらかといえば、あてはまらない	6.5	3.2	0.0	0.0	50.0
4. あてはまらない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

e. 社会の新たな要請に対応させた学問領域、研究領域の開発・開拓が可能となる

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	46	31	5	6	4
1. あてはまる	56.5	64.5	20.0	50.0	50.0
2 .どちらかといえば、あてはまる	37.0	29.0	80.0	50.0	25.0
3. どちらかといえば、あてはまらない	4.3	6.5	0.0	0.0	0.0
4. あてはまらない	2.2	0.0	0.0	0.0	25.0

f. 基礎研究と、応用的・実践的研究の接近が図られる

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	46	31	5	6	4
1. あてはまる	23.9	22.6	40.0	33.3	0.0
2 .どちらかといえば、あてはまる	47.8	51.6	40.0	66.7	0.0
3. どちらかといえば、あてはまらない	17.4	19.4	0.0	0.0	50.0
4. あてはまらない	10.9	6.5	20.0	0.0	50.0

g. 教員を研究組織に所属させることに伴い、人事権、予算執行権がこれまで以上に実質的に確保できる

	全体	国立	公立	私立医系	私立非医系
回答数	44	30	4	6	4
1. あてはまる	11.4	13.3	0.0	0.0	25.0
2 .どちらかといえば、あてはまる	43.2	40.0	25.0	83.3	25.0
3. どちらかといえば、あてはまらない	18.2	20.0	0.0	16.7	25.0
4. あてはまらない	27.3	26.7	75.0	0.0	25.0